

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2019-54862(P2019-54862A)

【公開日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2019-014

【出願番号】特願2017-179610(P2017-179610)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御装置と、当該遊技の演出を実行する演出制御装置と、を備える遊技機において、

前記演出制御装置は、

遊技の演出を実行するための情報を書き換え可能な記憶領域を有した記憶手段と、

前記主制御装置から入力されたコマンドを解析するコマンド解析部と、

前記コマンド解析部による解析結果に基づいて、前記演出を実行するための手順が定義されたスケジューラデータを選択し、当該スケジューラデータに基づいて演出装置を制御可能とする演出実行部と、

を備え、

前記記憶手段には、前記スケジューラデータの実行条件を特定可能な所定の記憶領域を有し、

前記スケジューラデータは、前記演出装置を制御可能なファンクションを含み、

前記ファンクションは、実行命令とパラメータによって構成され、

前記ファンクションには、前記スケジューラデータを実行する演出実行部を指定して実行させることが可能なリクエストファンクションと、前記記憶領域を更新可能なメモリ更新ファンクションが含まれ、

前記スケジューラデータに前記リクエストファンクションを複数指定することによって、当該リクエストファンクションに指定されたスケジューラデータを並列して実行可能であり、

前記メモリ更新ファンクションは、実行可能とするスケジューラデータの実行条件を前記特定可能な所定の記憶領域に対して、前記パラメータによって指定された情報に基づいて更新可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上述した目的を達成するため、本発明の代表的な実施形態では、

遊技の進行を制御する主制御装置と、当該遊技の演出を実行する演出制御装置と、を備える遊技機において、

前記演出制御装置は、

遊技の演出を実行するための情報を書き換え可能な記憶領域を有した記憶手段と、

前記主制御装置から入力されたコマンドを解析するコマンド解析部と、

前記コマンド解析部による解析結果に基づいて、前記演出を実行するための手順が定義されたスケジューラデータを選択し、当該スケジューラデータに基づいて演出装置を制御可能とする演出実行部と、

を備え、

前記記憶手段には、前記スケジューラデータの実行条件を特定可能な所定の記憶領域を有し、

前記スケジューラデータは、前記演出装置を制御可能なファンクションを含み、

前記ファンクションは、実行命令とパラメータによって構成され、

前記ファンクションには、前記スケジューラデータを実行する演出実行部を指定して実行させることが可能なリクエストファンクションと、前記記憶領域を更新可能なメモリ更新ファンクションが含まれ、

前記スケジューラデータに前記リクエストファンクションを複数指定することによって、当該リクエストファンクションに指定されたスケジューラデータを並列して実行可能であり、

前記メモリ更新ファンクションは、実行可能とするスケジューラデータの実行条件を前記特定可能な所定の記憶領域に対して、前記パラメータによって指定された情報に基づいて更新可能とする

ことを特徴とする。